



10

投稿

294

フォロワー

294

フォロー中

本部青年部 大渡海 第二十停泊所

発行日：2024年10月1日(火) 発行責任者：山口 明日波 編集責任者：阿部 翔太

9月21日(土)に東京ドームボウリングセンターで第二回青年部レクリエーションを開催しました。作業終了後の開催ということもあり、どのレーンもゲーム前の練習で入念に投げ込んでいましたね☺

皆さんとても技巧派でストライクとスベアを連発、普段の作業から身体が鍛えられている証拠だと思います(笑)。

ボウリング大会終了後は清掃会館に移動し、お寿司やピザを食べながら交流会を開きました。学習会とは違い終始和やかな雰囲気での取り組みとなり、今回のレクリエーション活動を通して交流の大切さを再確認できました(。-ω-)

フォロー中

メッセージ





honbuseinenbu_official

投稿



honbuseinenbu_official



いいね！ 294 件

honbuseinenbu_official

久しぶりのボウリングで筋肉痛になりました…。皆さんは大丈夫でしたか？(;´▽`)

今回のレクリエーションで、改めて対面での交流が出来ることを素晴らしく思いました。清掃会館への移動中に小雨が振り始め、天気には少し恵まれない状況でしたが、皆さんの反応を見ているとレクリエーションは大成功だったかなと思います。知識を深める学習会も大切ですが、年の近い仲間たちと純粋に交流できたことは非常に有意義な時間でした。これから賃金確定闘争も佳境を迎え、支部と地連の動きも活発になります。私たち青年が先頭で摺実な声を上げ、要求以上の結果を得られるように団結して頑張りましょう！！

#東京清掃青年部

#次の日筋肉痛

#みんなボウリング上手すぎ

#後ろのポスターは坂部副委員長が作ってくれました

コメントをすべて見る

Asumi_Yamaguchi

みんなと遊べて楽しかったなあ…。もっともっと仲良くしたいです🐻

ご飯食べながらプライベートな話も！！次はなにやる～？(*^。^*)

Takechi_Suginoya

組織部長として5年ぶりにレクリエーションを開催できて嬉しく思います。

支部を越えた仲間とボウリング、飲食は楽しめましたか？次はもっと多くの仲間に参加してほしいなあ

東京清掃青年部 大渡海

Vo.号外
2024.10.1 発

発行責任者
山口 明日波
編集責任者
阿部 翔太

官民格差△11,183(2.76%) 約30年ぶりとなるベースアップ

人事院は2024年8月8日に、人材確保に向けた抜本的施策と更なる改革の全体像として、多様な人材が集まり、一人一人が高い志を持って職務を遂行できる魅力ある公務を目指すと発表した。給与制度については、現下の人事管理上の重点課題に対応し、時代の要請に即した給与制度に転換するとしている。措置内容の例としては、

「初任給を大幅に引き上げ、管理職は職責重視

の体系に刷新」「地域手当を都道府県単位に広域化」「配偶者に係る扶養手当を廃止し、子に係る手当を増額」などが挙げられる。給与改定については、民間給与の状況を反映して、約30年ぶりとなる高水準のベースアップとした。4月分の官民格差を踏まえ、11,183円(2.76%)の引上げとなる。採用市場での競争力向上のため、初任給は大幅な引上げ(令和6年4月実施)が勧告された。若年層については特に重点を置きつつ、全ての職員を対象に全俸給表を引上げ、おおむね30歳台後半までの職員に重点を置いて改定している。ボーナスは年間4.50月から4.60月へと引上げ、期末手当及び勤勉手当の支給月数をともに0.05月分引上げとなった。昨年同様、若年層の引上げが大きく取り上げられたが、若年層の将来を鑑みると、賃金が原因で職場内の分断や競争を助長させる可能性がある。そのため、若年層のベースアップは決して手放しで喜べる状況ではなく、中間層以降の改定に関しては納得のいくものではない。また、将来を不安視して子を持たない家庭や、同性のパートナーを持つ人など、配偶者に係る手当を廃止し、子への手当を増額する旨の勧告内容については、様々な選択肢がある現代において疑問が残る結果となった。今回の勧告を受け、青年部としても多岐にわたる議論が必要だと認識しており、今後更に支部を越えた交流がより重要になるだろう。



人事委員会勧告



令和五年人事委員会勧告は十月十三日に発表された。今回も同じ時期の勧告が見込まれ、賃金確定闘争の激化が予想される。人事院勧告での大幅なベースアップに対し、人事委員会ではどのような勧告がされるのか、今後の動向に更なる注視が必要である。

